

令和2年度秋田県埋蔵文化財センター企画展

あきた縄文石器への旅

原始の世界へ誘う美しき石器たち

ここは現代と過去の交差点

展示構成（展示総点数 約520点）

第1章 萌芽 / 第2章 命名 / 第3章 変遷 / 第4章 技術
第5章 機能 / 第6章 葬送 / 第7章 描画 / 第8章 石斧
第9章 現代 / 第10章 石材 / 第11章 採掘 / 第12章 質感

会期／令和2年5月30日(土)～令和3年2月28日(日)

会場／秋田県埋蔵文化財センター特別展示室

◆お問い合わせ先

秋田県埋蔵文化財センター 資料管理活用班
〒014-0802 秋田県大仙市払田字牛嶋20番地
Tel: 0187-69-3331 FAX: 0187-69-3330

公開時間
休館日

午前9時～午後4時
年末年始・成人の日
建国記念の日・春分の日

あきた埋文

検索



あきた縄文石器への旅

獲物を狩るための矢尻や槍、肉を切り裂くための鋭いナイフ、漁撈用の網につけるための錘、巨木を切り倒すための斧、木の実をすりつぶす臼・・・。

縄文時代の人々にとって「石器」は生活を切り拓くために必要不可欠な道具でした。

本展では、秋田県埋蔵文化財センターでこれまでに発掘調査した遺跡から出土した縄文時代の石器にスポットを当て、12の切り口から紹介します。

あなたも石器の虜になること間違いなし・・・？

展示品ちょっと紹介・・・



局部磨製石斧 縄文時代草創期
三種町鴨子台遺跡
秋田県内で最古級の石斧です。
非常に優美に作られています。



玦状耳飾 縄文時代前期
大仙市上ノ山Ⅱ遺跡
翡翠などで作られた装飾品です。耳飾りと考えられていますが諸説あります。



石皿 縄文時代中期
大仙市内村遺跡
縄文時代中期以降、脚の付いた大きな石皿が増えます。木の実をすりつぶすためのものと考えられます。廃棄するときには意図的に壊される場合もあるようです。



石器副葬品 縄文時代前期
大館市池内遺跡
良質な石材を用いて高度な技術で作られた石槍・石鏃・磨製石斧・石匙などがお墓の副葬品として出土します。



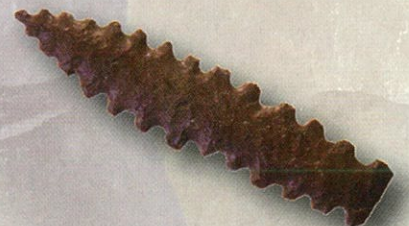
石鏃 縄文時代前期／後期
大館市池内遺跡／横手市八木遺跡
一番手前の石鏃1点は縄文時代前期、他は後期の石鏃です。時期によって石鏃の形や大きさが異なります。また後～晩期の石鏃はカラフルになる傾向があります。



異形石器 縄文時代後期
にかほ市ヲフキ遺跡
想像力を刺激する様々な形の石器が縄文時代後期以降に作られます。その用途は不明です。



三脚石器 縄文時代後期
能代市真壁地遺跡
3つの突起を持つ石器で、縄文時代後期に作られます。アスファルトが付着している例がよくあります。その用途は不明です。



異形石槍 縄文時代晩期
秋田市片野Ⅰ遺跡
石槍のようですが、ノコギリの歯のようなギザギザが全周します。破損もしておらず、何らかの非実用的な使われ方が想定されます。



黒曜石剥片 縄文時代晩期
秋田市戸平川遺跡
縄文時代後～晩期の墓域では、打ち割られた黒曜石の剥片が大量に出土することがあります。黒く光るガラス質の石は、死者に手向けられた葬送儀礼の一端を示すのでしょうか。



秋田県埋蔵文化財センター アクセスマップ